

三井物産 攻めのコーポレート

グローバルに無数に広がる三井物産のビジネス。その土台を支えながら価値創造のレベルを高めていくプロフェッショナル達、それが三井物産のコーポレート部隊。案件における各コーポレートの機能、またこれからのキャリアのビジョンを登壇社員(キャリア入社含む)が語ります。主体的に事業に携わっていく社員達の攻めの姿勢を是非ご実感ください。

Speakers 三井物産株式会社より



フィナンシャルマネジメント第一部
エネルギーFM室
白石衣理奈



法務部
ウェルネス・次世代法務室
外山信之介



ロジスティクス戦略部
物流ソリューション室
北野有紀恵



人事総務部
次世代人事データ
プラットフォーム推進室
清水英明

パネルディスカッション

攻めのコーポレート

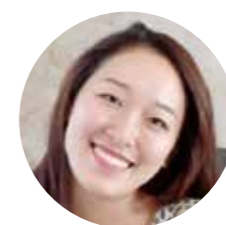
Q 「攻めの姿勢」が必要だと思った現場経験についてお聞かせください。



外山

新規案件の検討に立ち会う機会が非常に多いです。前職(法律事務所)では事業そのものに対する関わり方がリモートにならざるを得なかったのに対し、当社法務は、事業により近い立場から「リスクを認識しながらどのように対応するか」を強く意識するのが大きな違いでした。グレーな案件は徹底してリスクを洗い出し、ソリューションの助言を心掛けます。商社の法務の面白さは、グローバルかつ多種多様な事業領域。今まで会社で誰もトライしたことのない事業案件に携わることが多い。営業とお互いに探り探り、一から法令確認やリスクの洗い出しを行います。

入社当初から意思決定のプロセスに関与する日々。タイの投資先では毎日、設備投資の最適な進め方や組織人員構成、生産計画等に向き合いました。会社の意思決定の場で議論を数字の面から活性化させることがCFOの攻めの要素。経営陣の議論をinitiateすることを心掛けてきました。自分のこれまでの経験だけでは立ち行かないことにも対応が必要なので、ストレッチされる環境が多々あります。Routine Workもありますが、業務時間の7~8割は事業推進や経営課題に対して今後の戦略や対応策を練っている状況。



白石

Q 三井物産コーポレートで身につけたスキルについて教えてください。



北野

前職ではひとつのスキルを深めることを意識していました。当社は幅広い国や地域、産業を担当しなければいけないので、知識やスキルの幅が広がったと感じます。

人事総務部に来た時、「My Projectを持って」と言われました。経営からトップダウンで降りてくる案件だけでなく、主体的に経営課題を捕まえて対応策を打ち出していく「課題形成力」が養われると思います。



清水

三井物産攻めのコーポレート

三井物産のカルチャー

Q 三井物産で働く醍醐味は何でしょうか？



北野

「挑戦と創造」を本気で目指す社員が多いです。「三井物産らしく、世の中の役に立つ事業をつくろうよ」と素で上長が語っていたのが印象的。関係会社の経営の現場で改善提案する際も、物流の専門家としてしっかり意見を取り入れてもらえるので自らのスキル(物流)を磨き組織に貢献したいと感じます。前職ではひとつの目標に社員が一丸となっていたのが醍醐味でしたが、三井物産はいい意味で社員が異なる方向を向いていて、人・仕事に多様性があり日々刺激と学びがたくさんあります。

事業部との距離が近い。案件の初期から営業部から相談が来ます。商社特有かもしれませんが、ある日突然営業部が新規案件を持ってくることがよくあるし、投資に注力する国や分野も都度変化します。事業変化に素早く対応する能力が求められます。



白石

Q 今後のキャリアプランについてお聞かせください。

CFO部門としても現場シフトを推し進めており、自身も事業会社への出向など現場に携っていきたいと思います。



白石



外山

事業投資に携わる機会が多いので、トレーディングにも関わっていきたい。中長期的には海外駐在や営業部への出向等のキャリアも考えています。



北野

新規のビジネスやサービスをつくることに面白みを感じるので、そのような仕事を手掛けたいです。

グローバルタレントマネジメントの導入は自分が企画して進めている案件。自身のキャリアをかけてでも手掛けたいと思っています。また関係会社への人事総務部からの貢献はもっとできると感じるので、力強く事業ユニットを支援できるようにしていきたいです。



清水

三井物産攻めのコーポレート

参加者からのQ&A

Q 法務部内での業務内容について教えてください。



外山

業務の半分程度は稟議に関わる契約書等の書面review。その他、稟議後の案件の進め方の相談や諸々の日常業務に関する相談に対応しています。

Q 担当している経営改善業務、デジタルルーツの改善、新規事業においてroutine業務はありますか？



北野

ないです。プロジェクト毎に同時並行に進んでいます。

Q 三井物産の全社的なトレンド(経営方針)を身をもって感じられることはありますか？

現場重視。事業投資先に人員を張って、本店の人員を減らすトレンドを感じます。海外の事業会社でも現地社員から直接決算報告をしてもらうなど管理業務の重複感を減らす方向にある。また、新しい投資を行うとき、エネルギーであれば脱炭素化などがHot Topic。収益性のみならず定性的な意義や社会への影響も意識しながら議論します。



白石

Q 達成感のあったプロジェクトについて教えてください。



外山

入社直後に関与したのものとして、当局からの許認可を要する案件ながら、競合他社がいないうちにスピーディに進めたいという営業部の希望がありました。当局においても前例のなかった類の案件で、当局と交渉しながら何とか許認可取得に漕ぎつけた案件は印象的でした。

Q 仕事上、心がけていることはありますか？

慎重に考えて判断する文化があるので、稟議と呼ばれる意思決定プロセスは時間がかかります。コーポレートが深く入って議論に入るからだが、出来る限り事業部の注力する案件は熱が冷めないうちに一緒に通していきたい。



白石

三井物産攻めのコーポレート

参加者へのメッセージ



北野

半年前に三井物産に入社しましたが、想像以上に多様性の溢れる会社でした。新しい人に対してもwelcomeな雰囲気なので、自分らしく働けます。

今回のメンバーに限らず、色々な社員を知ってほしいと思います。自分をストレッチする環境が沢山あるので、それを面白いと思う方には当社でのキャリアを検討いただきたいです。



白石



外山

三井物産は環境として馴染みやすいですし、社員夫々がプロフェッショナリズムを持っている点がいいところです。